

比喩（たとえ） あるものを他のものやことがらにたとえて、印象を強めたり感動を盛り上げたりする方法です。

金色のちひさき鳥のかたちしていてふちるなり 夕日の岡に

与謝野晶子

問 次のなかで比喩を用いている短歌を二つ選びなさい。

ア 彼岸に何を求むるよひ闇の最上川のうへのひとつ螢は

斎藤茂吉

イ やはらかに柳あをめる北上の岸辺目に見ゆ泣けごとくくに

石川啄木

ウ 白鳥は哀しからずや空の青海のあをにも染まずただよふ

若山牧水

エ あをによし奈良の都は咲く花のにほふがごとく今盛りなり

小野 老

オ 海恋し潮の遠鳴り数へてはをとめとなりし父母の家

与謝野晶子